

観光・リゾート産業については、県経済を力強く牽引するリーディング産業として、10年後の観光客数1,000万人を目指した、重点的な施策展開を図ってまいります。

平成19年度においては、新たに策定した「ビジットおきなわ計画」に基づき、入域観光客数590万人を目標に積極的な誘客プロモーションを展開し、特に、海外誘客については、10年後の外国人観光客数100万人を見据え、国や地域の実情に応じた戦略的な誘客活動に取り組みます。

また、国際会議、企業インセンティブツアーやスポーツキャンプ等の誘致を促進するとともに、スタジアム整備の状況などを踏まえ、プロ野球やJリーグの公式戦誘致に向け、球団やリーグへの働きかけを行います。加えて、映画やテレビなどのロケ撮影の誘致・支援のため、フィルムオフィス機能を拡充します。

観光客の受入に関しては、「観光マイスター制度（仮称）」の導入も含め観光人材の質的向上を図るとともに、健康保養型観光やエコツーリズムなどの体験・滞在型観光やリゾートウェディング等を推進します。

また、シニア層など有望なマーケットに向けた誘客対策、夜間や雨天時にも楽しめる多様なエンターテイメントづくりの促進、国際音楽祭の開催に向けた取組等により、観光の付加価値向上に努めます。

さらに、優位性のある観光資源を活かした「観光まちづくり」を促進し、地域総体としての魅力向上を図ります。

なお、これらの施策を一層進めるため、税制上の特例措置の活用を促進するとともに、関連業界や市町村など地域との連携を強化してまいります。

平成19年度誘客の重点項目

1. シニアマーケットの拡大

少子高齢社会及び団塊世代の大量退職時期を迎え、シニア層のマーケット拡大が今後見込まれる。

2. 外国人観光客の誘客促進

外国人観光客は全体の1.6%と依然低い状況。外国人観光客の誘致は、国際的な観光リゾート地として、将来に向けて安定的に成長するために不可欠である。

3. コンベンションの誘致促進

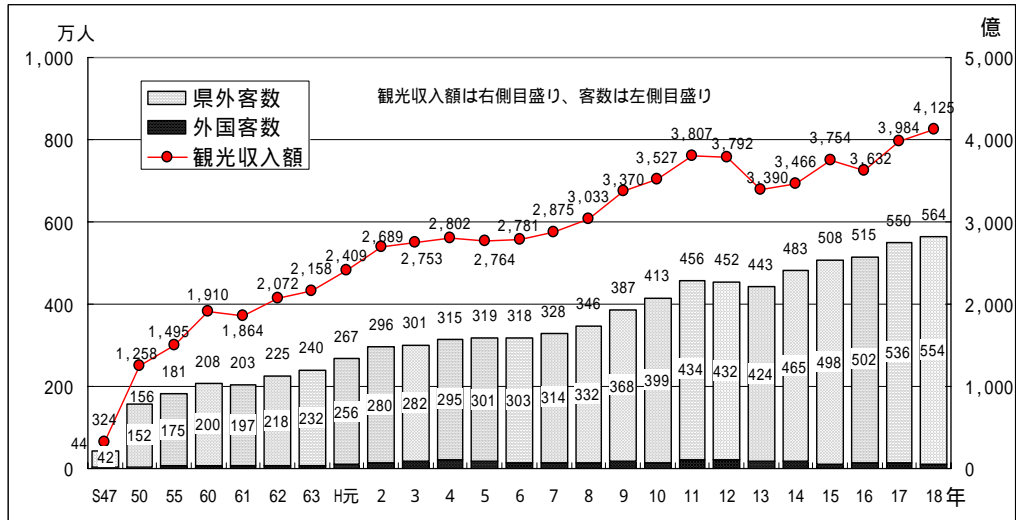
亜熱帯海洋性リゾート、温暖な気候という沖縄の特性や優位性を十分に活かし、国際会議、企業インセンティブツアー及びスポーツキャンプの誘致をさらに進めていく。

4. リゾートウェディングの推進

リゾートウェディングは、近年顕著な伸びを示しており、さらに発展する可能性を内在している。

(1) 質の高い観光・リゾート地の形成

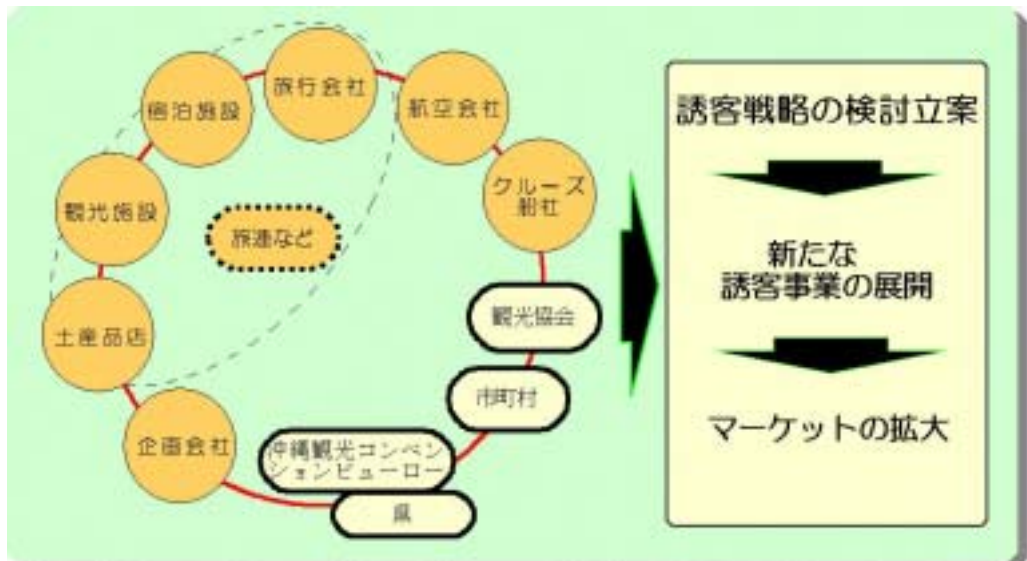
観光入域客数と観光収入の推移



資料:観光リゾート局「観光要覧」等

注1:観光収入額=観光客一人当たり県内消費額×観光入域客数、注2:一人当たり消費額については、平成12年の統計手法変更により統計数値が不連続となっているため、平成11年以前のとの比較に当たっては留意する必要がある。注3:観光収入額の平成18年値は速報値

航空会社、クルーズ船社、旅行会社、宿泊施設、観光施設、土産品店など幅広い観光関連業界と関係団体、各行政機関との連携体制を構築し、観光マーケットの開拓・拡大に向け、新たな誘客戦略の展開を図ります。



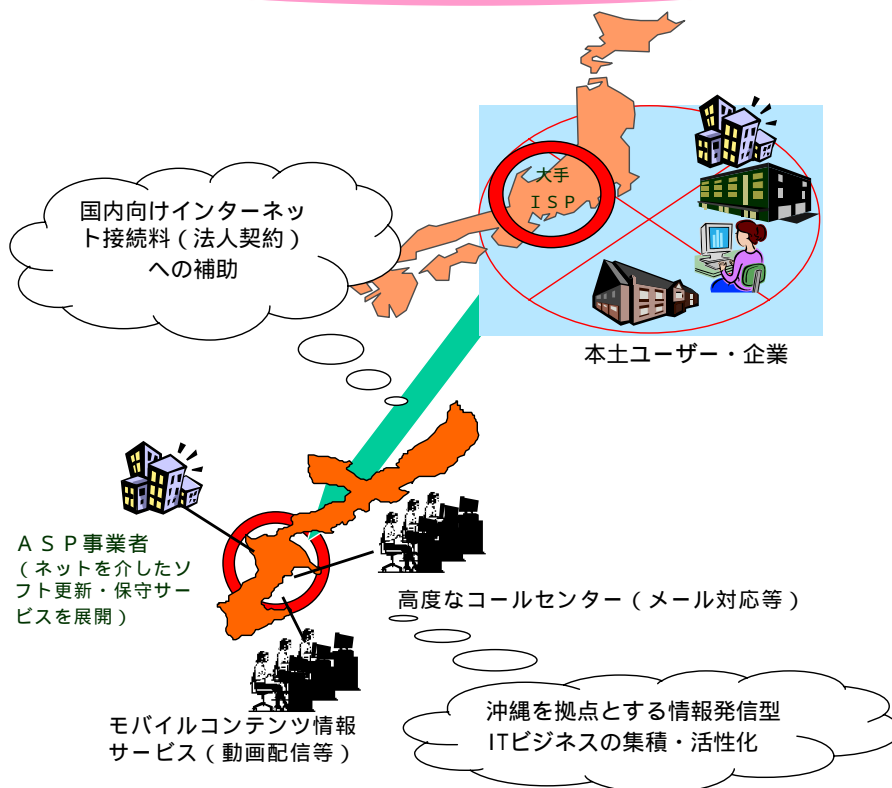
情報通信関連産業については、関連企業が集積・振興を図るため、税制上の特例措置を活用するとともに、既存建物を有効活用したIT支援施設整備など企業の立地ニーズを踏まえた支援施設の整備を促進します。

また、通信コスト低減化支援等を推進するとともに、高度な業務を担うIT核人材の育成を支援します。

国際IX（インターネット・エクスチェンジ）についても、実現に向けた取組を進めるとともに、国と連携し、「IT津梁パーク構想」や共用空間データの流通基盤整備を推進します。

国際的情報通信ハブ形成促進事業(H19新規)
(国内インターネット接続料補助)

国内向けインターネット接続料の1/2補助



(2) 未来をひらく情報通信関連産業の振興

通信コスト低減化支援事業

西日本は大阪APを拠点に
情報産業ハイウェイを利用

大阪アクセスポイント

東日本は東京APを拠点に
情報産業ハイウェイを利用

東京アクセスポイント

大阪 - 沖縄

沖縄県情報産業ハイウェイ

東京 - 沖縄

1600km

沖縄GIX構築事業(H19新規)

